

備前市事務事業評価表

事務事業名	雨水施設整備事業	コード	01-01-10-03
		担当課・係	下水道課工務係
		担当者	戸島 智明
事業実施期間	平成元年度～平成28年度	電話	0869-66-9702
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	下水道	

事業について	
目的 (何のために)	近年の台風災害による浸水被害を解消すべく、雨水整備を図る。
対象 (誰・何を対象に)	吉永排水区内(115ha)全ての住民・家屋等
内容	水路改修整備(12,080m)

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
水路延長	580 m	413 m	
実施設計	1 件	1 件	
雨水ポンプ場工事等	0 施設	1 施設	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	135,852	間接補助金等	31,990	直接事業費	245,668	間接補助金等	104,010
	人件費	6,450	委託費負担	10,351	人件費	11,800	委託費負担	
	合計	142,302	市債	85,100	合計	257,468	市債	124,100

必要人員	0.75 人	1.60 人	
結果指標	結果指標名	水路延長	水路延長
	結果指標量	580	413
	単位	m	m
	対前年比	-	71.21%
	活動にかかるコスト	134,658,500 円	81,718,808 円
	単位当たりコスト	232,170 円	197,866 円
結果指標	結果指標名	雨水ポンプ場工事等(実施設計含む)	雨水ポンプ場工事等
	結果指標量	1	1
	単位	施設	施設
	対前年比	-	100.00%
	活動にかかるコスト	7,643,500 円	175,749,565 円
	単位当たりコスト	7,643,500 円	175,749,565 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	雨水整備率を上げることにより、周辺住環境を整えつつ浸水家屋の減少を図る。		
成果指標名	整備率	式又は説明	累積供用整備面積/認可整備面積*100 (78.7ha/115ha*100)
	17年度	18年度	
成果指標量	67.2%	68.4%	
対前年比	-	101.79%	0.00%
到達目標値	100%	到達目標年度	平成28年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 下水道法	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	経済的な問題等が弊害となってくると思われるが、計画の円滑な推進に向け、1年でも早い事業完了を目指す。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化 <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である 手段の最適化 <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	効率性評価<A~E> B 課題認識 今後の整備に対し最適な手段を職場内で確認し、見直しをしながらコスト縮減に努める。	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	整備率は年々向上しており、快適な環境づくりは整備されている。
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 前年に引き続き、雨水管渠整備を推進し、ポンプ場建設にも着手している、
目標値	結果指標量	555m	結果指標量
	成果指標量	69.7%	

総合評価	近年の異常気象の増加に伴う被害を解消するため、雨水管渠の整備・雨水処理に必要なポンプ場の設置を推進し早期完了に努めていく。	評価区分 <A~E> B
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	現状のまま整備計画箇所を施工し、安全で安価な工法を確認しながらコストを見直す。	平成19年度～	コスト縮減